

生物研究

第 XVII 卷 第 1·2 号

1973

THE LIFE STUDY

Vol. XVII, Nos. 1·2

May 30, 1973

FUKUI, JAPAN

目 次

報 文

モンズズメバチの初期巣におけるコロニーの発達経路	松 浦 誠	(1)
ムネアカツヤバチの色彩変異 (英文)	常 木・伊 丹	(13)
木蝋に造巣する数種銀口蜂の習性 (英文)	常 木 勝 次	(14)
福島県北部のスズメバチ亜科・付日本産スズメバチ属の学名について	官 野・松 浦	(21)
オオノブセンの雌	常 木 勝 次	(23)
新潟県の青蜂科	伊 丹 英 雄	(24)

短 報

<i>Pemphredon (Susanowa) sudai</i> Tsuneki の新産地	伊 丹 英 雄	(12)
デズクリエナシエンモン の巣について (英文)	常 木 勝 次	(20)
「日本産ツチバチ科について」の訂正	常 木 勝 次	(23)
マツカレハに寄生するハエ4種	穀 治 秀 雄	(25)
埼玉県のアナバチ科追加	南 部 敏 明	(30)

採集記

父島採集記	羽 田 義 任	(26)
-------------	---------	------

研究手引

蜂類研究手引 (31) シガバチモドキ属	常 木 勝 次	(31)
----------------------------	---------	------

CONTENTS

Matsuura, M.: Colony development of <i>Vespa crabro flavofasciata</i> Cameron in early stage of nesting	(1)
Tsuneki, K. et H. Itami: Variation in colour of <i>Alysson pertheesi</i> Gorski, with notes on other characters	(13)
Tsuneki, K.: The biology of some pith burrowing silver mouth wasps (Hym., Sphec., Crabroninae)	(14)
Matsuura, M. et M. Kanno: Vespinae in the northern part of Fukushima Prefecture, with notes on the nomenclature of the species of <i>Vespa</i> in Japan	(21)
Tsuneki, K.: The female of <i>Psen ohnonis</i> Tsuneki (Hym., Sphecidae)	(23)
Itami, H.: Chrysididae in Niigata Prefecture (Hymenoptera)	(24)
Haneda, Y.: Wasp collecting excursion to the Chichidzimas	(26)
Tsuneki, K.: A guide to the study of the Japanese Hymenoptera. The genus <i>Trypoxylon</i> Latr.	(31)

会

規

昆虫学の同好者は、誰でも本会に入会することが出来る。
 本会は、適宜談話会（当分年二回）を開き、また採集会を行なう。
 本会は会誌を年2回発行し、会員は自由にこれに寄稿することが出来る（ただし当分1印刷ページにつき全文のもの1,000円だけ、図は1論文1個とし、それ以上の分は原則として著者負担とする。原稿の形式を本誌既出論文に準じ、編集係宛送付のこと。）
 入会の希望者は、郵便連絡地（勤め先または住所）を明記の上、福井市文京3丁目福井大学教育学部生物学教室生物研究刊行会あて所定の年会費（1200円）を添えて申込まれたい。

The female of *Psen ohnonis* Tsuneki, 1973

By K. TSUNEKI

Psen (Psen) ohnonis Tsuneki, Etizenia, 65: 9, 1973 (♂).

Closely resembles *P. affinis* Guss., and had been confused with this species. But in the present species (1) punctures on mesonotum slightly larger, uniform in size and distribution (in *affinis* anteriorly finer and closer and on the disc and posteriorly larger and sparser), (2) punctures on upper frons merely closely punctured (in *affinis* finely longitudinally punctate and rugoso-striate), (3) interantennal transverse carina distinctly lower than in *affinis*, and (4) medial produced part of clypeus much broader, relative width to the distance between its lateral angle and the eye is 16 : 14-15 (in *affinis* 17 : 11.5-12.5). Distribution: Japan and Korea.

オオノブセンの雌

オオノブセン *Psen ohnonis* Tsuneki は羽田義任氏の福井県大野市仏原で採集された1♂に基づいて書かれたブセンバチであるが、その後自己採集の未整理標本を検した結果、大野市谷山の山地で採集した(7.X.1972) 2頭のみが発見された。更にその♀をさがしたところ、これまでタカネブセンの中に混同されていた、それと酷似した1群の♀を発見、その点刻の状況および同一地より同時に採集されている点から、これこそオオノブセンの♀であることが推定された。

この♀はタカネに比べて、中胸背の点刻は平均的にやや大きく、全面ほぼ均一の大きさでほぼ均等に分布し(タカネでは前方で小さく密、後方で大きく粗)、上額はやや密に単に点刻されるだけ(タカネでは縦に点条刻となる)、触角間の山形の稜は明らかにタカネより低く、また頭楯前縁中央の突出部の幅はタカネよりはるかに広い(その側角から複眼までの距離よりわずかに狭い、その比は14 : 14~15、タカネでは17 : 12前後)。

オオノブセンの分布の状態を見ると低山帯からかなりの高地まで分布するが、タカネは本州の中部では低山帯には産しない。

被検標本。1♀、朝鮮(北鮮大沢一ダイタク, VIII, 1942), 34♀ 2♂、日本: 8♀、北海道(層雲峡・定山溪), 7.VIII-17.IX; 14♀、青森(十和田山地), 11.VIII-7.IX; 1♀、山形(北中野), 17.IX; 20♀ 2♂、福井(荒島岳中腹・小池・嵐・下打波谷山), 4.VIII-7.X。

「日本産ツチバチ科について」の訂正

本誌16巻1・2号に邦産ツチバチの分類と学名について一文を書いたが、これは頁の余白を埋めるために急遽まとめたゆえもあって、所々に思い違いに基づく誤りがあり、その一部は発送前に気づいて訂正しておいたが、次の点は訂正もれとなっているので、ぜひ書き直しておきたい。

21頁下から2行目、2.5倍と3.5倍が逆になっている。*schulthessi* が3.5倍、*grossa* が2.5倍である。

(常木勝次)